

大規模接種 月末に終了 防衛省

防衛省は26日、自衛隊が運営する新型コロナウイルス



自衛隊が運営する大規模接種センター
(東京都千代田区)

イルスワクチンの大規模接種センターでの接種を30日に終了すると発表した。5月下旬に東京、大阪の2会場を設置し半年間で合計196万回接種した。全国の総接種回数

の1%にあたる。
11月30日に任務完了式を開き撤収作業に入る。

鬼木誠防衛副大臣は26日の記者会見で、3回目接種で自衛隊が会場を設けるかを問われ「予定は

ない」と話した。地方自治体が集団接種のノウハウを蓄積し接種がスムーズに進み始めたことを理由に挙げた。

東京会場が置かれた大手町合同庁舎3号館(千代田区)には撤収後、別の政府機関が入る予定があるという。会場の外に設けた仮設の建物も解体する。大阪会場が置かれた大阪府立国際会議場(大阪市)は営業を再開する。